

桜山 (175m)

(桜山町)

三原市の中心部を眼下に望む

桜山は、市民に最も身近な、そして短時間で登れる山(高さは175m)。尚国土地理院の地図ではそうなっているが、案内板には182mとなっている。山頂には城があった。誰がいつ築いたか、はつきりしないが、後に三原城の「詰城」として使われたという。今は桜の



苗木を植える運動が展開され、沢山の桜が麓から山頂まで、主にルートA&Bの登山道沿いに植えられている。山頂へ向かうルートは主に4つ。最も整備され歩き易いのがルートA(赤色)。雑草の茂る夏場は、登山道入口から1合目辺りまでは、整備が追いつかない場合はやや雑草が生い茂り歩き難い事があるが、このルートの往復なら、気軽に歩ける。往復で、距離は2Km、歩行時間は約70分。次いで、ルートB(緑色)。このルートは、急坂あり、滑り易い箇所もあり、ピクニック気分では無理。それなりの、靴と脚力が必要。展望が最も開けているのが良い。ルートC(紫色)とルートD(水色)は北側から山頂へ向かうが、大目木峠で一緒にになり、尾根筋(黒色のルート)を歩き山頂に至る。C&Dは、登山口が分かり難く、かつ登山口からしばらくの間は、雑草で荒れている(特に夏場は)ので、このルートに慣れている人以外はお勧め出来ない。ここでは、三原駅北口からルートAで山頂に登り、下山し三原

駅から西口(隆景広場)へ帰るコースを詳しく紹介する。距離は約2.4Km、歩行時間は約85分。三原駅北口①を出て、城の堀を左手に見ながら進み、突き当りを右折。広大付属幼・小・中学校の塀が終わる地点に標識②があるので、そこを左折ししばらく進むと又標識③がある。そこを左折し少し進むと、ゲート④がある。ここから道なりに進み、数分で右折ポイントが現れるが、夏場は特に雑草が茂っている場合が多く、見落とす可能性がある。注意する事。頂上までは、丸太で作られた階段が続くので、それを頭に入れておく事。右折ポイントから1分でライオンズクラブが設置した案内板⑤(ここに登山口と表示されている)がある。3分程登ると、「一合目」を表す標柱がある。ここから、三原市街が見え始める。以後、「九合目」まで標柱が設置されている。途中、分岐点が数か所現れるが、常に丸太の階段のある方向へ進む。登山口からゆっくり歩いて25分もすると頂上⑥に着く。ベンチやテーブルもありゆっくりくつろげる様になっている。ここからは、三原の中心部がすぐ眼下に広がり、筆影山や瀬戸内海も望め、最高である。しかし、夏場は木々の葉が茂り、視界が妨げられるのが残念である。山頂部は南北に長く、一周してみるとよい(約300m)。昔の城跡や幕末の砲台跡を見ることが出来る。さて、下りは登って来た道を5mも下った所で右折しルートB(緑色)を下りる。このポイントが分かり難いので要注意(近々標識を設置予定)。このルートはAルートとは違い丸太の階段は無く、急坂でかつ滑り易いので十分注意して下る事。途中で視界が開け三原市街の展望が良い。15分程下ると分岐点⑦(現在標識がなく、近々標識を設置予定)に出る。ここは非常に迷い易い。つい直進してしまうが、ひも(ロープ)が付いているのでその方向に右折する。ここからは、雑草が茂っている時も多いが約7分程下ると、墓所⑧に出てすぐ登山口(西登山口)⑨に降り立つ。そこから、老人大学の駐車場を通り、車道に出て、地図の緑ルートをたどれば、三原駅の西口(隆景広場)⑩に到着する。

チェックポイント

以下の写真を参照されたい。



三原駅から眺める「桜山」



標識 ②



標識 ③



ゲート ④



案内板 ⑤



頂上に到着 ⑥



頂上からの眺め



ルートBからの眺め



墓所 ⑧



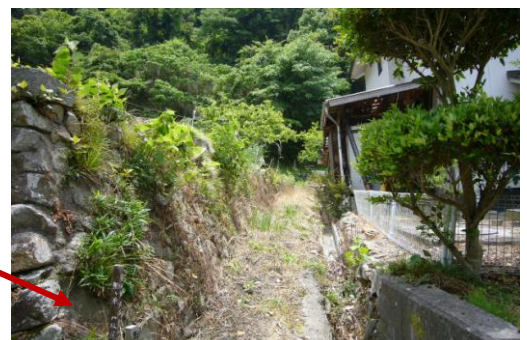
ルートBの登山口（西登山口） ⑨



ルートCの登山口（左石垣は「東光寺」）



この標柱が立っている



ルートDの登山口